



1つ食べると7年寿命が延びるといわれる大涌谷名物、できたてホカホカの黒たまごもぜひ(上)。姥子周辺では、春には桜の淡いピンク色が目を楽しませてくれる(右)。



女性に人気の宿、「はなをり」の顔ともいえるスポットが、足湯も備える水盤テラス。湖と山々の自然とひとつになったような清々しい気持ちに包まれる(上)。プッフエスタイルでありながら創意にあふれ、洗練された一皿一皿が味わえる夕朝食が好評。夕食では好きな小鉢を選び、籠に入れて自分仕立ての八寸が楽しめる(下)。はなをり/0460-83-8739 神奈川県足柄下郡箱根町元箱根160

大涌谷から再びロープウェイに乗って、青く輝く芦ノ湖を眺めながら、終着駅の桃源台へ。今宵の宿は、昨夏、芦ノ湖畔に開業したばかりの「箱根・芦ノ湖はなをり」。山々と芦ノ湖が織りなす雄大な景色が迎える空間で、湯に癒され、独創的かつクオリティの高いプッフエを愉しめば、心も体もふわりとほぐれ、明日への元気が湧いてくる。

は、大人でも何度乗ってもわくわくします。Nゲージの鉄道模型のように、ロープウェイのジオラマを作りたくなりました」と、豊岡さん。標高1044mの大涌谷駅までは約8分。駅を降りたら、展望スペースから行き交うロープウェイを眺めたり、高台から壮大な富士を望む大涌谷延命地蔵尊にお参りしたり。地蔵尊に湧く温泉で手を清めれば、大地のエネルギーを肌で感じることもできる。

## 爽快な空中散歩を経て湖畔の湯宿へ



### 豊岡さんより Point

#### スイスから運ばれてきたゴンドラ

このロープウェイ、箱根の山岳気象が適していることからスイスアルプスと同じ運行方式が採用され、ゴンドラもスイスから船で運ばれてきたというから驚きです。箱根では全員着席のため使われることはなさそうですが、頭上にはちゃんとつり革があり、ちょっと変わった形をしています。乗車したらぜひチェックしてみてくださいね。

昼食後は、強羅駅と早雲山駅を一直線に結ぶ箱根登山ケーブルカーに乗車。山頂の早雲山駅で箱根ロープウェイに乗り継ぎ、大涌谷を目指す。ほぼ全面ガラス張りのゴンドラから望むバノラマは、圧巻の一言。空気が澄んでいる日には、東京スカイツリーも見えるという。「早雲山駅を出発し、斜面を登り切って一気に景色が開けた瞬間や、噴煙が立ち上る大涌谷の硫黄の色など、上空からの景色

上り下りのケーブルカーがすれ違う時だけ二股に分かれた軌道を進む、「すれ違い」がケーブルカーのハイライト。早雲山駅に設置されたモーターが巻き上げる、レール上のケーブルの動きにも注目したい。

